

人生山や谷はつきもの。一つの道が続ければ、いつか花咲く。

曾我部万里（住友電気工業株式会社 研究開発本部 解析技術研究センター 主幹）

仕事の内容とやりがい

私の部署ではシミュレーション技術と分析技術を駆使して、大きなものでは電力ケーブルから、小さなものではスマートフォンの中に入っている米粒ほどの半導体のチップや部品におこるいろいろな問題の“犯人”を捜したり、画期的な製品を作るヒントを見出す仕事をしています。工場や研究所の開発者の方たちと一緒に問題解決ができた時が最もやりがいを感じる時ですが、小さなことでも新しいことを発見できたときなどは、ほくそえんだりします。

私の進路決定のきっかけ

高校時代の化学や生物の実験で色の変化を楽しんだり、時には失敗していきなり火柱を上げてしまったり、スリルにあふれた？経験をしたのがきっかけです。化学の先生には、「学問にも流行があるけれどもどんな分野に進んでも一生続ければ、苦しいことがあっても、必ずいつか花は咲く。」と教わりました。今の企業に進んだきっかけは、面白い仕事をしている人がいる、と紹介をされたから。実は何を作っている会社かほとんど知らないで、人にひかれて進路を選びました。

仕事と生活のバランス

子育てが仕事の息抜きになり仕事の子育ての息抜きになる、と考えて、主人と職場に助けられてきました。“続けられななとかなる”という気持ちで、頑張りすぎずにやってきました。ある意味、はた迷惑な存在だったかもしれません。企業はチームプレーなため、研究の中核となる仕事のほか、ある程度裏方的な仕事も選べます。子供の小さい間は裏方に徹するようにしていました。

進路選択についてのメッセージ

自分に何が向いているかなんて、誰かが教えてくれるものではありません。やってみないとわかりません。実際にいろいろなことを経験して、友達と経験を話し合ひましょう。理科や数学が、楽しい、好き。なのに、テストで点が取れないこともあるでしょう。でも、楽しいと感じないと長く続けることができません。悩んで選択した後は、続けていればきっといいことがあります。時々、寄り道してもいいので。

<曾我部万里（そがべまり）プロフィール>

京都の私立女子高校卒業 京都大学理学部入学 化学専攻。修士課程修了後、住友電気工業株式会社に入社 分析評価業務一筋20年 社内結婚ののち 2児の母。